

令和8年度静岡県障害者技能競技大会(アビリンピック)  
「ビルクリーニング」競技課題

**【一般的な注意事項】**

**【共通】**

- 1 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上清掃」の2課題です。両課題とも2コートを使用し、予め抽選により決まった順番で競技を行います。
- 2 両課題とも作業面積は、16 m<sup>2</sup> (4m×4m) とし、幅木による区画とし、幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
- 3 作業場所にある机は、移動させないでください。
- 4 課題には次の規定時間が定められています。  
① 課題1 7分      ② 課題2 10分  
両課題とも残り時間が2分となったところで合図します。  
規定時間を超えた場合は入賞対象外としますが、作業は完成させてください。
- 5 作業開始の指示は、審査員が行います。競技者は、挙手し、「始めます」と申告して、2コート同時にスタートしてください。  
競技が終了したら「終わりました」と申告してください。  
※始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。
- 6 作業ごとの入退室を行う際には、「失礼します」「失礼しました」と一礼してください。  
※「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。
- 7 作業終了後、競技時間を発表します。競技時間の発表は、両コートの選手の競技が終了した段階で各コート順次発表しますので、先に終了した競技者は、スタートラインに戻り、他の競技者が終了するまでそのまま待機してください。
- 8 競技で使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- 9 使用した資機材は、手入れした後、指定された場所へ片付けてください。
- 10 競技の採点は、作業準備、作業動作(手順)、仕様誤り、作業態度、作業時間の5つの観点から審査し、加点方式により行います。
- 11 競技者は、競技に適した服装をしてください。
- 12 著しく隣のコートの競技者の競技を見た場合は、減点の対象となります。

## 【課題別】

### ＜課題1 カーペット床清掃＞

- 1 床の材質は、繊維系の床面とします。
- 2 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。
- 3 床のゴミは、「シュレッダーで裁断した紙」とし、50ml程度をまいたものとします。

### ＜課題2 弾性床清掃及び机上清掃＞

- 1 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
- 2 作業は、床面の掃き・拭き・ゴミ処理及び机上拭き作業です。
- 3 作業に使用する、資機材・消耗品は、作業用カートに載せてありますので、不足なものがないか点検して使用してください。
- 4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに競技者自身で調節してください。
- 5 乾式モップ用のダスタークロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
- 6 クロスを装着した乾式モップのヘッドは作業カートの上部に、柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
- 7 床のゴミは「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。

## 【資機材一覧】

### 1 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量
作業着(上・下)		1着
作業帽又は三角巾		1個
作業靴		1足

※持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

### 2 競技場に準備されているもの

#### <課題1 カーペット床清掃>

品名	寸法又は規格	数量
作業標示板		1個
真空掃除機	ポット型 リンレイ-RD370R	1台
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

#### <課題2 弾性床清掃及び机上清掃>

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業標示板		1個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本
ラーグ(モップ房)	260g 白色	1個
乾式モップヘッド	63cm	1個
小型ぼうき	30cm 幅用	1本
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
タオル	無地 水拭き用(青色) 無地 から拭き用(白色)	各1枚
ダスタークロス	69cm 幅用の不織布	1枚
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1枚
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

## 【作業仕様】

### ＜課題1 カーペット床清掃＞（作業時間：7分）

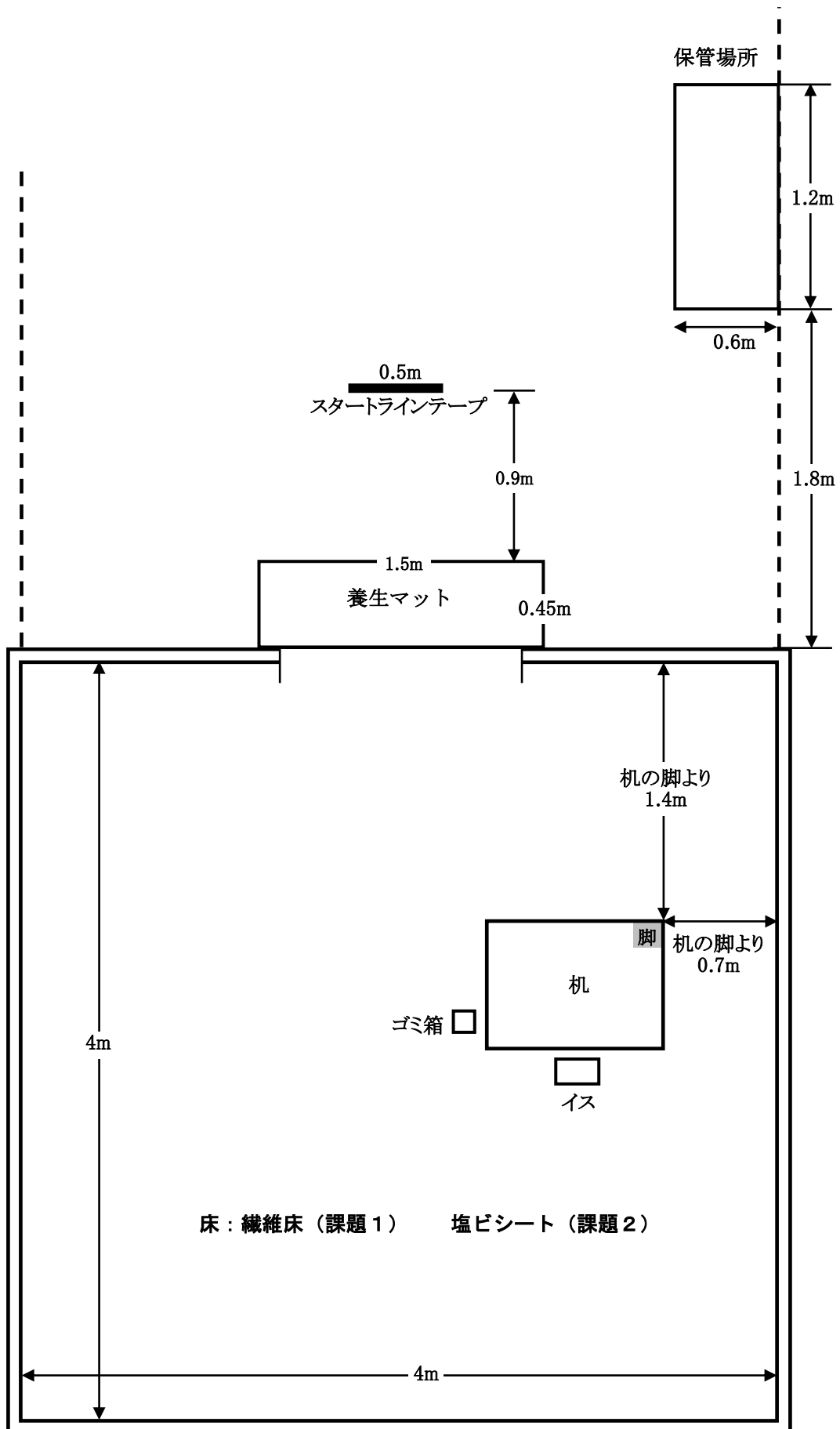
作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。</li> <li>真空掃除機にはウォンドと吸込口がセットしてある。</li> <li>作業標示板は既に所定の位置に立ててある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。</li> <li>資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</li> </ul>	資機材の点検終了後、係員の指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始のあいさつ	審査員の「始め」の合図で所定の位置に立ち、「始めます」とあいさつを行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。	吸込み口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室のあいさつ	入口にて、室内に向かって入室のあいさつを行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
除塵作業 (真空掃除機)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①真空掃除機を使用し、外から入口を除塵し、入室する。</li> <li>②室内での作業手順は、「カーペット床清掃作業手順」のとおり行う。</li> <li>③ゴミ箱は、持ち上げて除塵する。</li> <li>④前進しながら除塵する。</li> <li>⑤作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入口のゴミを踏まないように広めに足場を確保する。</li> <li>吸込口を床に強く押し付けけない。</li> <li>イスを手前に引き出し、机の下の除塵を行い、元に戻す。</li> <li>掃除機本体は、手で持って移動する。</li> <li>プラグを持って抜く。</li> </ul>	<p>ゴミはシュレッダーで裁断したものを50ml程度均等にまいてある。</p> <p>掃除機のコードを持って抜かない。</p>
点検	指差し又は目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しがないか点検する。	声を出さないこと。
退室のあいさつ	出口にて、室内に向かって退室のあいさつを行う。	「失礼しました」等と一礼して退室する。	
資機材の片付け	真空掃除機のコードを巻き、真空掃除機を保管場所に戻す。		
終了のあいさつ	所定の位置に立ち、終了のあいさつを行う。	「終わりました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

<課題2 弾性床清掃及び机上清掃> (作業時間：10分)

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) ①モップの柄の長さを調節する。 ②ダスタークロスをヘッドに装着する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</li> <li>柄は所定の位置に立てモップヘッドはカート上部の所定の位置に置く。</li> </ul>	資機材の点検終了後係員の指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始のあいさつ	審査員の始めの合図で「始めます」とあいさつを行い、競技を開始する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>片手をあげ、礼をする。</li> </ul>	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	作業カートを保管場所から作業場所へ移動し、作業標示板を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業しやすい場所へ移動する。</li> <li>所定の位置に作業標示板を立てる。</li> </ul>	
入室のあいさつ	入口にて室内に向かって入室あいさつを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「失礼します」等あいさつ、一礼し入室する。</li> </ul>	声を出して申告する。
ゴミ処理とイス上げ (1) イスを上げる。 (2) ゴミ回収 (3) ゴミ袋のセット	①作業前にイスを机の上に上げる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を出口においてあるカートゴミ袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペア袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上に上げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>机は動かさない。</li> <li>イスは机の四隅からはみ出さないように正しく載せる。</li> <li>ゴミ箱は机からはみ出さないように正しく載せる。</li> <li>ビニール袋を正しくセットする。</li> </ul>	
除塵作業 (掃き作業)	①乾式モップヘッドを養生マットの上で柄に装着し、外から入口を除塵し、作業場所へ入る。 ②入口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。 ③前進しながらゴミを出口に向かって1カ所に集める。 ④ヘッドをワンタッチモップ柄からはずす。 ⑤使用済みのダスタークロスをヘッドからはずす。 ⑥柄とヘッドをカートに戻す。 ⑦小型ぼうきと文化ちり取りを持ってゴミを集めた場所でゴミを取る。 ⑧ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑨使用した小型ぼうき・文化ちり取りをカートに収める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミを踏まないように広めの足場を確保する。</li> <li>ヘッドを床に強く打ち付けないこと。</li> <li>ヘッドを床から離さない。</li> <li>ゴミの上を歩かない。</li> <li>ヘッドはカートの上部へ邪魔にならないように置く。</li> <li>使用済みクロスはカートの袋の中に入れる。</li> <li>ゴミの取り残しがあれば小型ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り除く。</li> <li>ヘッドはスポンジ面を上にして置く。</li> </ul>	ゴミは、おがくずを50ml程度均等にまいてある。  点検の際に声を出さないこと。  柄の先端には親指を添える。

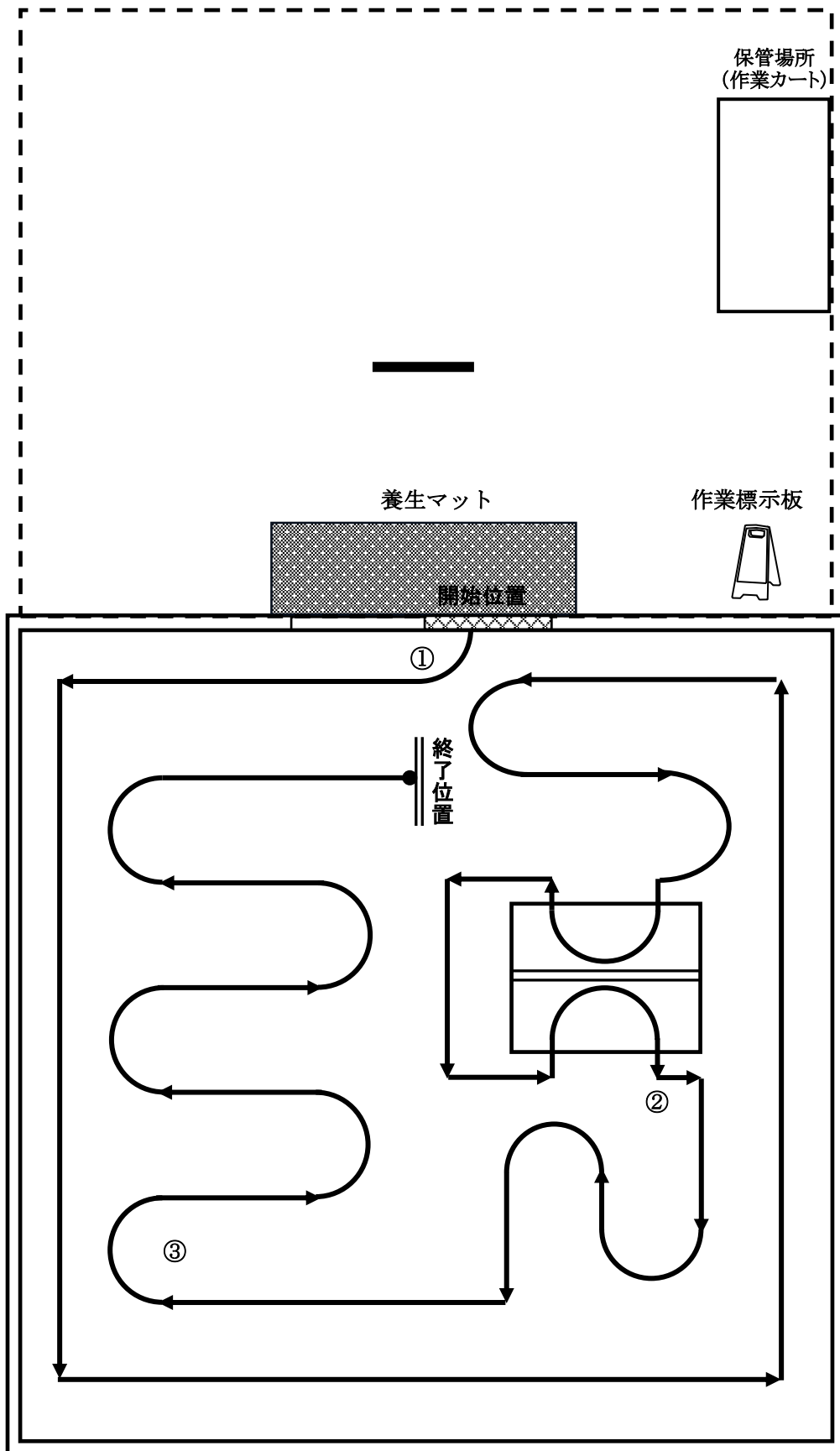
作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭きする (モップ)	①コート内全面積を拭く。 ②幅木側、机の下、中央の順番に拭く。 ③コーナー周りとお机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拭き残し、拭きむらのないようにする。</li> <li>・横拭きは柄の先端に親指を添える。</li> <li>・幅木、机の脚部に触れないようにする。</li> <li>・拭いたところを踏まないようにする。</li> </ul>	手を添えて拭く箇所は、「水拭きモップ作業手順」を参照のこと。
ゴミ箱とイスを下ろす	安全に音を立てないように下ろす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足の上に落とさないよう注意する。</li> </ul>	
机上拭き	①青色のタオルを八つ折りにして持つ。 ②机の縁を含めて、四隅から中央へ行う。 ③タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ④横拭き・縦拭きを行う。 ⑤机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。 ⑥水拭きと同様に作業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拭き残し、拭きむらのないようにする。</li> </ul>	
点検	指差し及び目視点検を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資機材の忘れ、ゴミの取り忘れなどの点検を行う。</li> </ul>	点検の際、声を出さないこと。
退室のあいさつ	出口にて室内に向かって退室のあいさつを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「失礼しました。」等一礼し、あいさつを行う。</li> </ul>	声を出して申告する。
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを所定の位置に戻す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元の位置に戻す。</li> </ul>	
終了のあいさつ	所定の位置に立ち、終了あいさつを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「終わりました」、「終了しました」等の意思表示を行う。</li> </ul>	作業終了を申告する。

# 標準配置図 (モデル)



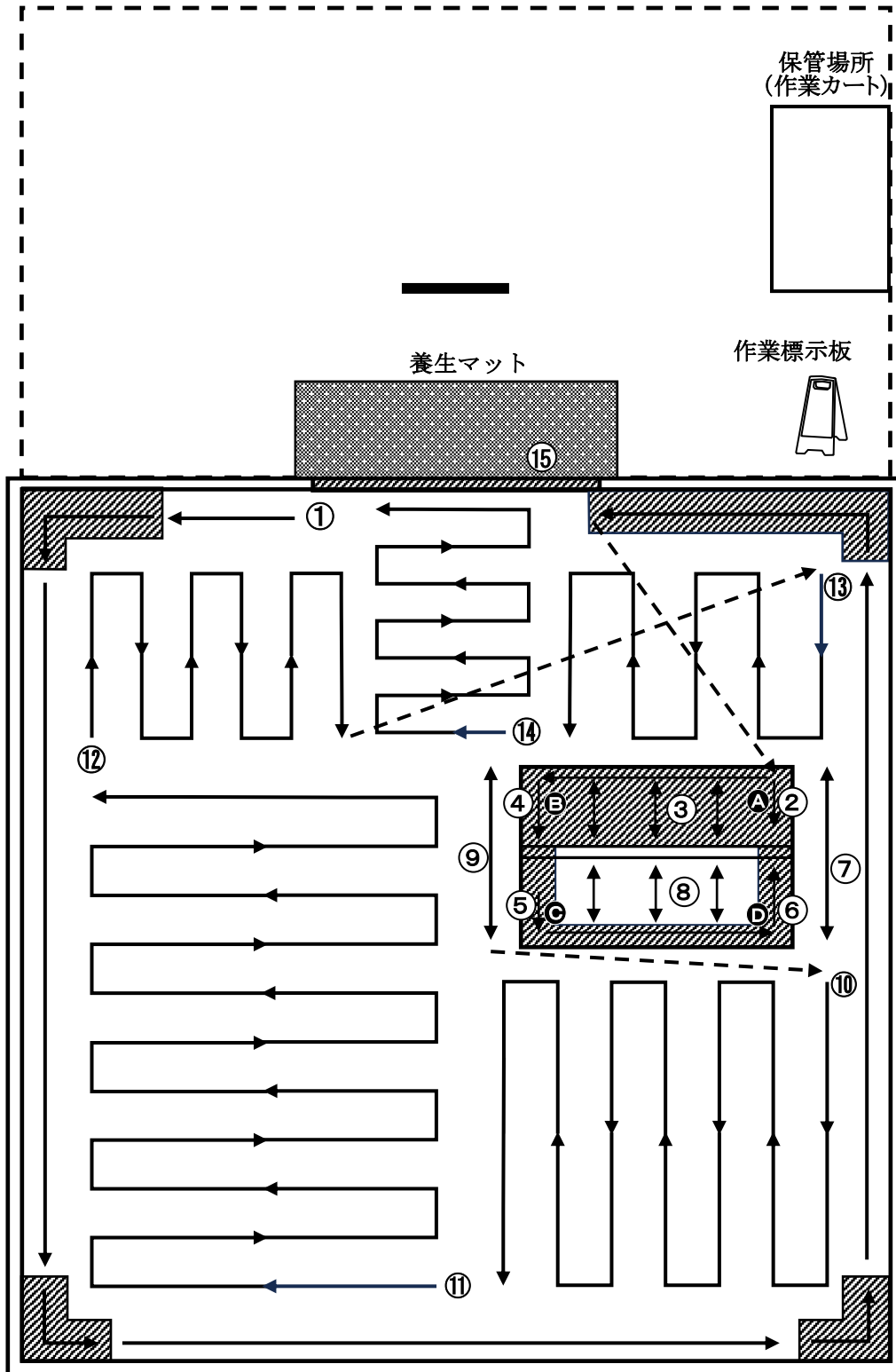


# 乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません。

# 水拭きモップ作業手順

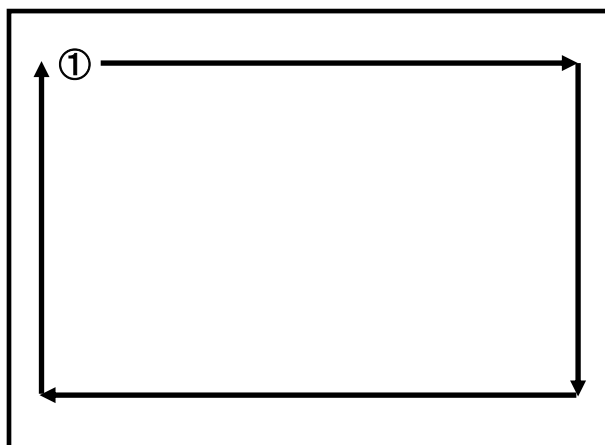


注：印は手を添える箇所を示す。水拭き回数を入れたものではありません。

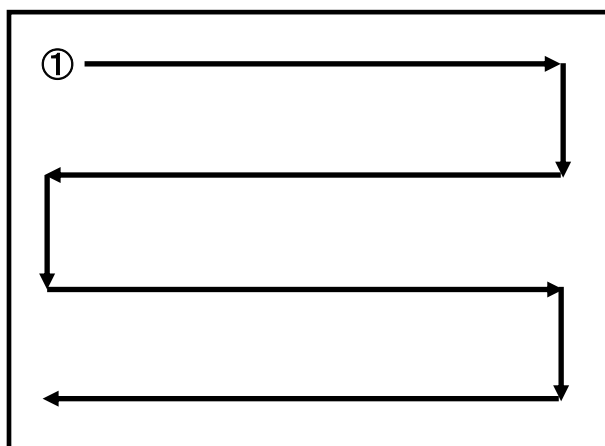
- ①巾木側を1周すること。(コーナーは手を添えます。)
- ②Aの足回りを手を添えて拭く。
- ③机の下を手を添えて拭く。
- ④～⑥B足、C足、D足の順に足回りを手を添えて拭く。
- ⑦机の脇(壁側)を拭く。
- ⑧机の下を手を添えずに拭く。
- ⑨机の脇(入口側)を拭く。
- ⑩～⑭スパンを決めて拭く。
- ⑮入口を手を添えて拭く。

実線矢印 (————→) が実際に作業を行う線です。  
 破線矢印 (-----→) は選手の移動のみで作業は実施しない線です。

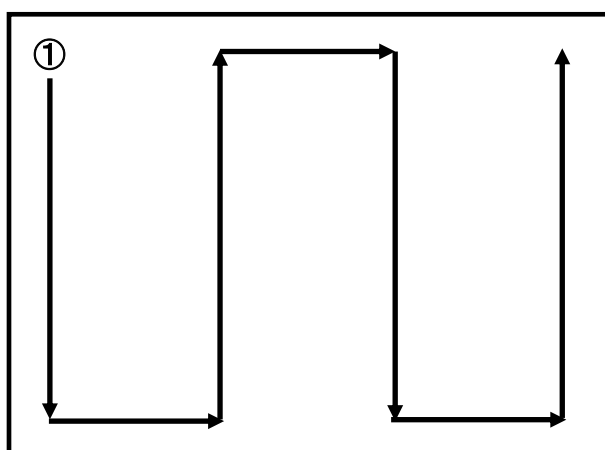
## 机上拭き作業手順



①四角く、縁に沿って拭きます。  
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。  
(このとき、拭きムラの無いよう注意します。  
また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しが無いよう中面を上下に拭きます。  
(このとき、拭きムラの無いように注意します。  
また、上下の動きにより、往復の回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。  
左手で持つ人の場合は、左右を逆にして構いません。